



## ◆1年間の事業概要【2020年4月～2021年3月】

2020年4月3日（金）～2021年3月26日（金） 10:00～16:00

開設日：47日（毎週金曜日常設41日 キャンペーン6日）



〔4月10日（金）～5月29日（金）8回は緊急事態宣言中は休止、祭日 12月28日～1月7日は閉設〕

相談件数：200件 総通話時間 7,652分 1件平均通話時間：39分

体制：受け手：20名 支え手：20名 スタッフ：7名 アドバイザー：4名 連携機関：4か所

年間後援：千葉県

キャンペーン後援：厚生労働省 千葉県 千葉市（社）千葉県医師会 千葉県小児科医会 千葉県歯科医師会（社）千葉県社会福祉協議会 千葉県保育協議会 朝日新聞社千葉総局 読売新聞千葉支局 毎日新聞千葉支局 東京新聞千葉支局 千葉日報社 NHK千葉放送局

	相談件数合計	内、午前中	かけ手					子どもの年齢（わかる範囲）						
			母親	父親	祖母	祖父	その他	0歳	1歳	2歳	3～未就学	小学生	中学生	高校生以上
合計	200	76	193	0	1	0	6	16	28	14	88	87	13	4
100%		38%	96%	0%	1%	0%	3%	6%	12%	5%	36%	35%	5%	1%

	相談内容の分類(複数選択)												所用時間(分)	平均時間(分)
	子ども						本人	夫(妻)との関係	舅姑	家族	地域・行政	その他		
	しつけ	発育(達)	健康	教育	食事	生活								
合計	9	14	8	12	3	41	95	41	6	3	3	7	7,652	39
100%	4%	6%	3%	5%	1%	17%	39%	17%	2%	1%	1%	3%		

## ◆目的 <子ども(乳幼児～小・中学生)を持つ親・養育者の子育てを応援します>

共感的に聴く専用電話の実施を通じ、子どもを持つ親・家庭の子育ての悩みや不安に耳をかたむけ、話を聴いてもらったり、受け止めてもらうことで安定した気持ちを取り戻し、養育者自らが、解決への力を取り戻し（レジリエンス）新しい人間関係づくりや育児を前向きに楽しめるようにします。傾聴によるエンパワメントでもあり、虐待の未然防止としての効果も期待されています。

## ◆市民ボランティアによる垣根の低い民間の電話

電話を受けるのは一般市民の受け手ボランティアです。受け手が親身に温かく丁寧に話をお聴きし、気持ちに共感し受けとめます。アドバイスや指導をせず、気軽に話しやすい雰囲気をお心がけています。受け手ボランティアは、年間20時間の傾聴や子育て支援に関する一定レベルの研修を受けています。

## ◆実績・経緯

2002年、「ママパライン」を東京で2月22日（金）～28日（木）の6日間開設し、197件の電話を受けました。その後、全国各地で常設化を進め、現在以下全国8箇所で開催しています。2008年3月「ママパライン」の商標登録取得。「ママパラインちば」は20年の実績。

## ◆全国8か所のママパライン

- ①ママパラインほっかいどう 080-6062-4735 毎週月曜日 13時～16時
- ②ママパライン仙台 022-773-9140 毎週金曜日 10時～16時
- ③ママパラインふくしま 0242-85-7878 毎月第1・3木曜日 10時～16時
- ④ママパライン東京川の手 03-3633-0415 毎月第1・3金曜日 13時～16時
- ⑤ママパラインちば 043-204-9390 毎週金曜日 10時～16時
- ⑥ママパラインあいち 052-228-7287 毎週月曜及び水曜日 10時～16時
- ⑦ママパラインわかやま 073-432-3690 毎週火曜日 13時～16時
- ⑧ママパラインひょうご 078-945-8333 080-3866-8333 毎週第1水曜日 10時～14時



## ●電話の声からの傾向や特色（プライバシーに配慮し再構築しています）

相談件数は200件です。（昨年207件）今年度の特徴は3歳～小学生の子どもを持つ親からの電話が175件（71%）で一番多く、0歳～2歳児の親からも一定件数かかっています。内容の分類については母親本人のことが95件（39%）と断トツ多く、夫との関係が41件（17%）です。夫への不満を訴え、離婚や離婚調停の話などもあります。コロナウィルス禍の為、在宅ワークや休校で家族の在宅時間が長く、イライラやストレスを感じていること、コロナウィルスへの不安や対応が人により温度差があり、ストレスになるという声も入ってきています。



◆0歳～2歳までの乳幼児を持つ家庭からは、はじめての子どもの子育てはちょっとしたことも不安になり、発達について気になっていることや、離乳食を食べないイライラ感など、聴いてほしい、教えてほしいと、育児に一生懸命でまじめなママたちです。ママパラインは気軽に話せ、いつもママたちの味方です。

離乳食を食べてくれない。拒絶がすごくてトラウマになりそう/スキンシップを嫌がり抱きしめようとすると体をのけぞる1日中ご機嫌が悪い/1歳半まだ単独歩行せず、受診と個別相談を受けているが異常なし。でも気になっている/自分で歯ブラシをもってやるが仕上げを嫌がる/自分にべったりでずっとついてきて疲れる/1歳半健診、気が重い。母子手帳の項目にできない項目がある/初めての予防接種で、熱が出たわけではないが泣く。ネットで調べ気になり電話した。/保健師さんに卒乳の準備をと言われた。ピタッと止めるべきでしょうか？/何もかもうまくいかない、子どもに振り回される

◆昨年同様、小学生を持つ家庭からの電話は87件（35%）、3才～未就学前が88件（36%）と、71%の件数がこの年齢を持つ家庭からかかっています。子どもの友達関係、ママ友関係、学校とのトラブル、子どもの不登校気味、子どものADHD等、子どもの発達を心配する等、多岐にわたります。

自閉・ADHD・アスペルガーの発達障がいがある。不登校気味で感覚過敏でマスクが苦手。昼夜逆転/小3おねしょをすることがある。おむつを使うこともある/学校がZOOMと隔週登校になり、親の仕事もあってZOOMがうまくできない/レトルトや買ってきたものは食べるが手づくりの物は食べない、子どもは大嫌い、食べてくれないから/一泊の学習旅行がある、コロナが心配。/学校が6月に再開しストレスなのか？大騒ぎで反発する、児相や警察の人がきた/子どもに発達障がいがあり、テストの前になるとパニックになり大暴れする/反抗が醜い、言葉も凄くすぐに切れる/仲間外れにされている

◆コロナ禍で生活スタイルが変わり、家庭内やママ友、夫婦間で起きているストレスの声が届きました。

コロナでストレスがたまりイライラしている。保育園もお弁当になり、夫の給料も減ってしまった/今後どうなるかわからず身構えてしまう。遊びたい盛りなのにずっと家にいて悪い影響があるのでは？/コロナで1年棒に振った、やりたかったこと目標が完全にストップした/コロナ禍なお茶に誘われたりライン電話をかけられイヤになった。/コロナで夫が在宅ワーク、夫婦の関係がギクシャクしている/育児休暇延長中、コロナで子どもとの遊びに疲れた

◆シングルマザーからの電話も多くなりました。自立してしっかり子育てをしているたくましいママたちの声に、受け手も思わずエールを送りたくなります。でも、時々孤独感を感じ、辛くなり、自分を責めることもあります。そんな時、話せる人・話を聴いてくれる人・わかってくれる人を求めています。

シングルマザーを隠して知人をおしゃべりが本音で会話できず、相手を信用していない/ちゃんと子育てしているか不安だが、これからはきっと乗り越えられると思う/シングルマザーの道は決して楽ではなく孤独な中で迷いや苦しみを感している。話を聴いてくれる人がなかなかいない/子どもになめられている。父親の代わりと思うと悲しくなる。

◆母親自身のこと。イライラ感 ストレス 自信がない 孤独 辛い 離婚したい もう限界… 抱えている気持ちや感情を、そのまま吐き出せるママパラインでありたいと思います。

頑張っている母親だと思う。人の目が気になる。認められたい・ほめられたい/今まで頑張ってきたが結果がついてこない、モヤモヤが晴れない/夫以外の誰かと話したい！おしゃべりしてもいいですか/役所の相談機関で、ちゃかされたような対応に納得がいけない/ママ友との距離をおきたい/子どもを最優先して自分を犠牲にしてきた、頑張りすぎたかな？/もう疲れた、家族やめたい、悩むことに疲れた、人間に疲れた/実母に共感してもらえず言われたことにカチンときた/子どもの評価=自分の評価と受け取ってしまう/夫とのコミュニケーションがとれない、無視されている、家裁に相談しようと思う